

主な活動

⑤

県営住宅の活用と町の魅力創出

第3回城山ワークショップ「県営住宅の活用と町の魅力創出②」が、2022年5月14日（土）に城山公民館で開催されました。世話人4名のほか城山町住民、顧問2名、群馬県住宅政策課2名、高崎市内の建築設計管理・地域づくり事業者7名の計25名が参加しました。

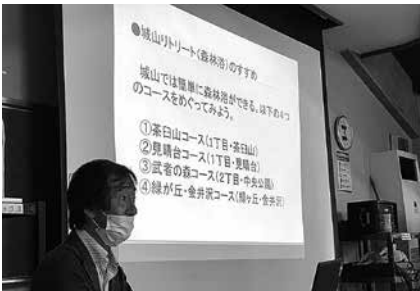
冒頭、田中茂夫世話人代表、顧問の松本基志群馬県議会議員、白石隆夫高崎市議会議員から挨拶を頂戴しました。その後、世話人の大宮登より4月9日に開催した第2回ワークショップの報告を行いました。続いて、ロクシー・デザイン(株) 亀山寛人代表取締役より県営住宅団地の利活用について魅力的な提案を頂きました。

二人のプレゼンテーションの後、1テーブル5～6名の4班に分かれ活発な意見交換を行い、各班代表者より班内で話し合われた内容について発表を行いました。最後に、事業者の一人である(株)アイデアプラス林史泰代表取締役より総括的なコメントを頂戴し、ワークショップを終了しました。

ワークショップの記録はグラフィックレコードを用いNPO法人DNAの南条調が務め、コーディネーターを(株)ワークエントリーの渡辺大輔が務めました。

＜亀山さんによる提案の一部：県営住宅を4カテゴリーにゾーン分けして活用＞

- ①ペットゾーン：1Fの部屋にプライベートドッグランを設置。共同ドッグランも隣接させ住民同士・町外住民の交流も深める。
- ②クラフトゾーン：1Fの部屋にウッドデッキ、カフェ開業や作品小売が出来る。月一マルシェ開催、町外への発信力も高める。
- ③子育て応援ゾーン：子供が安心して全力で遊べる間取り・団地の設計。
- ④音楽ゾーン：各棟スタジオ・各部屋防音設備施工。小規模野外フェス開催可能な広場も整備。→団地住民はじめ町外住民も楽しめるアミューズメントパークに。



城山リトリート提案



住宅団地利活用提案



意見交換



意見交換



ワークショップ記録

意見交換